

丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅における営業開始の遅れについて

平成 26 年 10 月 15 日（水）午前 5 時頃、丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅において駅社員が寝過ごしたことから営業開始が遅れ、34 名のお客様が始発列車に乗車できず、また、下車した 2 名のお客様が駅から出られない事態が発生いたしました。

ご利用のお客様には、大変ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。
詳細は下記のとおりです。

記

1 発生日時

平成 26 年 10 月 15 日（水）4 時 50 分から 5 時 18 分まで

2 発生場所

丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅（杉並区阿佐谷南 1-15-7）

3 影響

始発列車に乗車できなかったお客様 34 名

始発列車から下車し駅から出られなかったお客様 2 名

4 状況

4 時 30 分に起床し営業の準備を行うべき駅社員 2 名（31 歳男性、経験年数 5 年 8 か月及び 23 歳男性、経験年数 4 年 6 か月）が寝過ごしたことにより、当駅にある 3 か所の出入口のシャッターの開扉、2 機のエレベーターや自動改札機、自動券売機等を稼働できず、始発の時点で未営業状態となりました。

5 時 3 分頃、南阿佐ヶ谷駅に到着した荻窪発池袋行き始発列車の運転士（33 歳男性、経験年数 10 年 6 か月）から指令所への報告により未営業状態が判明し、指令所の呼び出しで起床した当該駅社員により 5 時 7 分から出入口シャッター開扉作業を開始し、5 時 18 分にすべての出入口で営業を開始いたしました。その結果、34 名のお客様が始発列車に乗車できず、始発列車から下車された 2 名のお客様が駅から出られませんでした。

5 原因

駅社員が寝過ごしたことによるもの

6 再発防止

- (1) 駅務管区長会議を開催し、所属員に対し点呼時教育等で同種事故の再発防止について徹底するよう指導いたします。
- (2) 万が一、当該事象が発生した場合にも営業開始が遅れることのないようバックアップ体制の見直しを図ります。

以 上